

# 令和7年度社会福祉法人ないえ福社会 事業計画

## 事業方針

令和6年度の報酬改定で各事業に影響が出ると心配されましたが、予定していた加算の取得などができ、大きな影響なく7年度を迎えます。

令和7年度は、サービスの透明性や、利用者と地域の関係作りなどを目的として居住系サービスに地域連携推進会議の設置が義務化されました。関係機関と協力してスムーズに進めていきます。

入所事業では、3年計画で進めてきた暖房配管の改修工事が7年度で完了する予定です。今後は、設置から15年が過ぎたボイラーの入れ替えを含め、計画的に改修工事を進めていきます。

就労系事業では、令和7年10月に就労選択支援が創設されます。利用者の確保が難しくなっている就労移行支援の継続も含め、情報収集や意向調査等を行っていきます。また、新たな培養室の設置についても計画的に進め、利用者の工賃等に影響が出ないように準備をしていきたいと思えます。

共同生活援助事業では、ここ数年、雨漏りが問題となっていたフピの屋根改修工事の他、補助金を活用して熱源等の見直しを行っていきたいと思えます。公用車の入れ替えも進めます。

高齢化や病気の悪化等により、どの事業も利用者が減少していることから、法人内で連携し、積極的に新規利用を受け入れたいと思えます。人材面では、定年退職を迎える職員が続くことから、先を見通した人材の育成や人事異動への準備を進めていきたいと思えます。

## 中・長期計画

### (1) 入所事業

- ・暖房設備の更新
- ・個室化とナースコールの設置に向けた準備
- ・地域交流ホームの改修工事に向けた検討
- ・入所施設建て替えに向けた資金の積立

### (2) 就労事業

- ・利用者の高齢化を踏まえた事業の検討
- ・就労選択支援の情報収集
- ・培養室の建て替えに向けた準備

### (3) グループホーム事業

- ・ 日中サービス支援型共同生活援助事業の情報収集
- ・ 公用車の計画的な更新
- ・ サテライト型住居の検討
- ・ フピ暖房設備改修についての準備（脱炭素化事業補助金申請検討）
- ・ フピ屋根改修工事

### (4) 居宅介護事業

- ・ 新規利用者募集
- ・ 新規登録ヘルパー募集

## 具体的事業

### 1. ハード面の事業について

事業ごとに必要な修繕や改修等を計画的に行っていきたいと思います。また、引き続き災害等に強い施設作りを目指し、利用者が安心して生活できるよう環境の整備に努めます。

- ・ パソコン入替
- ・ 各グループホームのメンテナンス
- ・ 各作業場のメンテナンス
- ・ 公用車の計画的な更新
- ・ 旧職員住宅の解体

### 2. ソフト面の事業について

職員の処遇向上や働きやすい環境づくりのため、就業規則の見直しや業務効率化・省力化などの取組みを継続します。

- ・ 賃金改善のため処遇改善の取得、配分方法の見直し
- ・ 職員の負担軽減、業務効率化を目的とした介護ロボット等の導入検討
- ・ 新卒者確保に向けた情報収集等
- ・ 将来を見据えた人材の育成等

### 3. 各事業について

#### 就労事業

令和7年度の就労継続支援B型利用者は41名、就労移行支援は3名でスタートします。就労継続支援B型、就労移行支援、就労定着支援を一体的に運営しながら活動してまいります。

令和6年度は菌床数を2割減らして16,000個としましたが、作業量よりも労働力が上回る結果となったことに加え、4月には菌床価格が値上げされることが決まっていますので、効率的な作業で18,500個を栽培し、値上げ分をカバーしたいと考えています。就労移行支援には、雨竜高等養護学校から1名の利用者を迎え入れることが決まっています。年々、

就労移行支援を利用して就職を目指す方が少なくなり、利用者の獲得が難しい状況が続いています。今年度は利用者の意向調査や学校訪問でニーズの把握をしながら、事業継続について検討していきます。

喫茶みみずくでは安定した収入を維持しながら、必要な訓練と多くの経験を通して作業スキルの向上や人との関わり方を学ぶ就労訓練の場として活動してまいります。

就労定着支援の利用者は7名です。長く安定して仕事が継続できるよう、連携してサポートを続けます。

ハード面では、培養室の建て替えに向け既存の車庫を解体予定です。情報収集や専門家との打ち合わせ、見学等必要な準備をすすめます。

雪解けを待つてすまっしゅ敷地内に公用車二台分の車庫を設置予定です。

### 施設入所事業

施設入所事業は、入所者37名で新年度を迎えます。高齢化が進み、年々介助や介護が必要な方も増え、食形態の変更や医療的ケアの必要な方も増えております。新たに加わった職員も多いことから継続的に介護技術や強度行動障害がある方への支援スキルの向上に努め利用者が安心できる暮らしをサポートします。

入所者に欠員があるため、見学や宿泊体験の受け入れなど積極的に行いながら新たな入居者を迎えられるように進めて行きたいと思っております。

引き続き女性棟の個室化についても検討していきたいと思っております。

ハード面では、男性棟の暖房配管改修工事を行います。今後も計画的にメンテナンスを進めて環境を整えていきます。

### 生活介護事業

生活介護事業の利用者は、44名です。健康を第一に考え、元気に楽しく過ごせる様に体操や散歩を毎日行います。また、選択して参加できるようにバラエティーに富んだ活動を目指していきます。

施設入所と生活介護共に欠員がでましたので、養護学校や相談支援事業所などと連携して新規利用者の受け入れに努めます。

昨年度に続き1名の新卒者を採用しました。若者のエネルギーを活かして明るく居心地の良い環境づくりに努めます。また、情報発信でネットワークを広げながら人材確保につなげたいと思っております。

### 短期入所事業

短期入所事業は、近年利用者が減少していましたが、コロナ禍前の様な受け入れができるよう、職員の連携を強化し体制を整えていきます。状況やニーズに寄り添い安心できるサービス提供に努めます。また、緊急時の受け入れについても柔軟に対応していきたいと思っております。

## 共同生活援助事業

共同生活援助事業は、40名の入居者で新年度を迎えます（男女棟共に1室空室）。昨年度の悲しい別れを乗り越えて、3月には新篠津高等養護学校を卒業した女性が秋の体験宿泊を経て入居しています。入居希望の問い合わせには積極的に対応していますが、医療的なケアが必要、タイミングの不一致、ハード面の課題等がありなかなかスムーズに進めなないことがあります。今後も継続して新規入居者の獲得に努めて参ります。

グループホームから一人暮らし等に向けた支援が評価されることとなりましたが、加算の取得にはハードルが高く、また希望する方もいないため、今後も継続して入居者の意向を聞いて対応したいと思います。人員配置については変わらず苦慮しており、パートの欠勤により加算が取れなくなるという緊張と隣り合わせで、今後も細かな時間のすり合わせや長く働いていただける環境整備に努めます。

ハード面では、フピの改修工事について準備しています。フピは開設当初から光熱費が他ホームに比べると高く、熱源変更の検討やサポートヒーターを設置するなどして過ごしてきましたが、この度「脱炭素化事業（補助金）」を利用した改修工事に向けて調査依頼しているところです。屋根についても設計上雪庇がひどく、都度対応してきましたが、雨漏りが見つかり改修工事の必要があります。

また、既存の軽貨物自動車は15年使用しており、計画的に入れ替えの時期となりますので購入を検討しています。

## 居宅介護事業

居宅介護事業は安定したサービス提供を継続しており、今後も維持できるよう努めて参ります。

行動援護事業、同行援護事業も展開していますが、より専門的な技術が必要なことから、日々活発に意見交換し、情報の共有をしております。地域の中では数少ない事業であり利用相談もありますので、期待に応え活躍できるようスキルを磨き、ヘルパーの募集を継続して体制を整えます。

また、人事について大きな転機を迎えますので、スムーズに引き継ぎ安定した事業継続ができるように準備していきます。

主に利用しているグループホーム入居者は、大半が日中活動サービスを利用しており時間的な制限があるので、配慮しながらサービスを提供していますが、日中活動事業運営への影響があるので、今後も各事業とすり合わせをしながらサービスを提供していきます。